

日本物理教育学会ニューズレター 2011年12月号

●日本物理教育学会と日本物理学会との会員特権についての相互協定が更新されました

本学会と日本物理学会は、それぞれの学会の(全国)大会への投稿・登壇権および参加費に関して、下記のような優遇措置をとってきましたが、このたび、この措置を2011年4月から10年間さらに延長する相互協定を結びました。協定の内容は次のようになっております。

- 1) 日本物理学会会員でない日本物理教育学会会員も、日本物理学会年次大会・大会(春と秋の大会)の物理教育分野に講演の申し込みをすることができ、また日本物理学会会員と同額の参加費で参加できます。
- 2) 日本物理教育学会会員でない日本物理学会会員も、1)と同じように、日本物理教育学会の研究大会に講演の申し込みをすることができ、日本物理教育学会会員と同額の参加費で参加できます。

●2012年度研究大会の開催について

例年はこの時期に、第一次案内(日程、場所)をお伝えしていますが、2012年度の研究大会は現在理事会にて検討中です。2012年1月末頃には日程と場所をお伝えできるかと思えます。今しばらくお待ちください。

●新潟にて「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 新潟」が開催されました

東京、福岡などで開催されている「高校物理の授業で役立つ基本実験講習会」を、物理教育研究会、(社)日本物理学会、新潟大学主催、本学会共催で、11月27日(日)に新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」を会場に行われました。

高校物理の授業で行う基本実験について、1テーマ40分程度で実験実習を行い、参加者は5つの班に分かれ、班ごとのローテーションで5テーマすべてについて実習をおこないました。実験の内容は以下の通りです。

- 基礎技術講習
(箔検電器の箔の貼り替え、オシロスコープの使い方)
- 力学的エネルギーの保存 ○複スリットによる干渉
- 抵抗の温度変化 ○霧箱(放射線)

他県や遠方からの参加もあり、定員30名のところ31名の参加者と講師12名で実施しました。「少人数で実験を行うため、講師の先生やグループのメンバーで話がしやすい」「全ての実験が今後の生徒の指導に利用できそうで参考になった」等、アンケート結果も大変好評です。



写真 「力学的エネルギーの保存」の様子



写真 「霧箱(放射線)」の様子

●北海道支部にて物理教育シンポジウムが開催されました

北海道支部にて、11月23日(水)に北海道大学において、「第2回 中学・高校・大学をつなぐ「物理教育シンポジウム」」が開催されました。

前半の科学部生徒の研究発表については、科学部の活動を応援することを目的に、10年以上にわたり北海道支部で継続している事業です。顧問の先生のご指導のもと、生徒が自分たちでアイデアを出し研究を進めた結果は、大変レベルの高い内容です。科学部の指導経験がない先生方にも良い刺激となりました。毎年感じることでありますが、参加者からの質問に対して堂々と応える生徒の皆さんの姿は、たいへん頼もしいものです。



写真 生徒研究発表の様子

後半のシンポジウムは、中学校より3名、高校より1名のパネリストを迎え、議論が交わされました。中学校理科での物理分野は、多くの部分で高校物理基礎と重なっています。中学校では、「見せて、体験させて」、概念形成をはかることが指導の中心になっています。高校物理基礎でも、式による説明だけでは、生徒に敬遠される危険があります。多くの生徒が履修するであろう高校物理基礎の授業では、式の導出と同時に、中学校での指導を踏まえた概念形成の工夫が必要であることが提言されました。高校現場にとっては、多くのヒントが提示された有意義な企画となりました。内容は、本部会誌「物理教育」の北海道特集で紹介する予定です。

●中国四国支部後援行事のお知らせ

2012年2月18日(土)、広島県情報プラザにおいて広島県物理教育研究推進会主催の交流型ワークショップ(中国四国支部後援)「明日から使える理科教材ワークショップ(VIII)―第16回物理教育研究会―」が開かれます。当日受付も可能だそうですが、申込を1月27日までにしていただけるとありがたいそうです。

詳細については、<http://home.hiroshima-u.ac.jp/jinjin/edu/index.html> をご覧ください。

*次号は1月末日に発行予定です。ニューズレターで、広報したい本部・支部行事、共催行事などありましたら、1月15日までに学会事務局へメール(henkou-phyedc29@trad.ocn.ne.jp, @は@に直してください)にてご連絡ください。ただし、掲載の適否については編集委員会で審議させていただきます。

編集後記

ニューズレターを発行したメールを会員の皆さんに送ると、学会HPへのアクセスが急増していることが読み取れ、大変嬉しく思っています。また、ニューズレターに関してご意見やご感想をいただければと思います。上記アドレスにご連絡いただければ、編集委員会のメンバーに届きます。

(長谷川)

発行：日本物理教育学会会長 高橋 憲明 編集：日本物理教育学会ニューズレター編集委員会 発行日：2011年12月25日
